

発行 | 字 国場自治会  
発行責任者 | 渡嘉敷 正彦

那覇市国場95番地  
TEL 098-855-3165  
FAX 098-855-1811

写真 | 軽便鉄道・国場駅舎と職員

## もくじ

- 自然と親しむ幼児教育
- 古蔵小学校 卒業式
- 那覇市地域包括支援センター「国場」開所
- 土帝君(トゥティクン)祭
- 三角公園小公園 整備
- 共同作業参加へのお礼
- 真和志自治会長連協 定例会、定期総会
- 国場川こいのぼりまつりに参加しよう!

## 5月度行事 ▼27日(日) 定期総会 ※午後6時

### 自然と親しむ幼児教育

去る3月某日、二班の嘉数義雄さんの畑において、那覇市立与儀保育所の4歳児クラスの園児27人によるジャガイモ掘り体験があった。第14回那覇農産物フェアのイベントとして、昨年引き続き開催されたそうだ。子供たちが今回の

体験を通してイモのできる場所や掘り起こし方を学んでいる姿や、イモの出来栄に感動している様子が印象的であった。嘉数義雄さんが「子どもたちの姿に感動と喜びを覚えた。引き受けて良かった」と語っていた。

来年も幼児教育の一環として地域貢献につなげて行ってもらいたいと思う。



## 4月13日(金) 那覇市地域包括支援センター「国場」開所

国場、仲井真、真地、上間、字識名地域を包括する支援センターが字国場326番地(一班、嘉数武さんの土地)に開所した。隣接する特別養護老人ホーム「グリーンハウス」内において開所式があり、字国場からは渡嘉敷正彦自治会長ほか計3名が参加した。来賓の那覇市チャーがんじゅう課

の山口芳弘課長が挨拶されたあと、乾杯の音頭では真和志第五民児協の嘉数春雄副会長が高らかに杯を掲げた。近隣の自治会長や民生児童委員など多数の方々が開所を祝福した。那覇市は平成30年4月から地域包括支援センターを市内18カ所へ増設するそうだ。

高齢者が住みなれた地域で生き生きと暮らしていくために、当自治会も積極的に協力して行きたい。



### 共同作業参加へのお礼

去る4月8日(日)に実施した自治会の共同作業は、各班から多くの会員にご参加頂きました。ありがとうございました。

清掃後の字有地は、すがすがしい景観になり字国場地域の環境整備に役立っております。皆が共同で参加する事

は会員相互の親交、親睦をはかる事にもつながると思います。今後とも会員各位のご理解とご協力をお願い致します。





## 真和志自治会長連絡協議会 定例会、定期総会 参加

4月11日(水)、定例会、定期総会および懇親会が開催された。

真和志地区は44の自治会があり、毎月の定例会において那覇市(行政)か

らの連絡事項や地域社会福祉活動の報告および各自治会の取組状況などの意見交換会を行っている。今回は定期総会と懇親会も同日

開催された。懇親会では来賓の城間幹子市長から挨拶があり、那覇市小学校区まちづくり協議会の地域活動の展開と各自治会への協力と要望などがあった。

## 古蔵小学校 第42回 卒業式

3月22日(木)、古蔵小学校の卒業式へ出席した。ピカピカの1年生から6年間学んだ古蔵っ子113名が卒業した。「よく学び、よく遊び、成長した6年間の思い出を胸

に、中学校に進んでも大きくはばたいて下さい」と在校生(5年生)の送る言葉とともに卒業生の別れの言葉には感動した。学校長式辞、保護者代表の挨拶

などは心のこもった言葉でつぶられていた。式典終了後の卒業生退場では、会場全体が一体になった姿が見られた。立派な古蔵っ子の卒業式であった。

## 三角公園小公園 整備始まる

四班にある字有地(共同井戸跡)の小公園は現在、子供用すべり台とブランコが設置されている。遊具は老朽化が進み危険な上、公園利用者もなく閑散としている。その当園を花卉園芸部会の皆さん

が整備に取り掛かっている。今後周りの樹木を生かしつつ草花を植栽し環境美化に取り組んでいくとのこと。自治会事務局も賛同し協力して行く所存である。会員皆さまにもご助力

いただけたらと思います。



## 「国場川こいのぼりまつり」に参加しよう!

4月15日(日)～5月26日(土)の期間、新国場橋・三角公園において恒例の国場川こいのぼりまつりが開催されている。このまつりは「少年に夢

を、青年に希望を、お年寄りに誇りを…そんな街に住みたい」をテーマとするまちづくり運動の一環で開催されており、5月13日

(日)には舞台発表など地域に根差したイベントが予定されている。多くの自治会員に参加してもらい、まつりを盛り上げて頂きたい。

## 3月18日(日) 旧暦2月2日 土帝君(トウティクン)祭



恒例の土帝君祭が開催された。字国場では主に農業の神様として祀られている土帝君へ、野菜生産部会により生産され提供して頂いた農産物と、海の幸の数々(カニ、エビほか)と共に拝殿にお供え(奉納)して会式に移った。今回は字国場地域以外から4名の方々(俳句の会)が特別参加された事もあり、城間秀雄さんより字国場土帝君について解説をして頂いた。拝みは渡嘉敷光助さんにより執り行われ、参加者全員で今年の無病息災、豊年満作を祈願した。

奉納芸能では、民俗芸能保存会メンバー4名の三線演奏によるウズンビーラの唄「作タル米節」が披露された。最後は皆でカチャーシーを踊り、字国場の

繁盛を祝って終了した。本祭りにご協力いただいた評議員と他役員、女性部と野菜生産部会の皆さま、そして一般参加者の皆さま、ありがとうございました。

